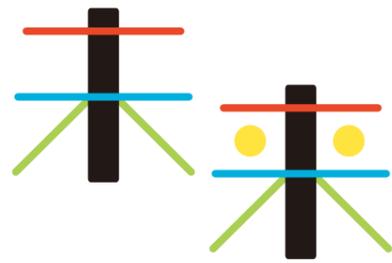


# 市制施行20周年記念誌

未来へつなぐ  
メッセージ



常陸大宮市



常陸大宮市 市制施行20周年記念

# へつなぐメッセージ

未来へつないでいきたい、市の魅力や誇りをこれからもずっと。もっと。

## 豊かな自然

一級河川である久慈川と那珂川に抱かれ、四季折々の豊かな自然に囲まれた風光明媚なまちです。アウトドア施設も充実していて、カヌーやキャンプなどを楽しみに、市外からも多くの方が訪れます。



温泉施設



紅葉



久慈川・那珂川

夏から秋にかけての鮎釣りが人気。水がきれいであり良い苔ができるので、それを食べて成長する鮎は、形、色、味ともに全国でも有数です。



満天の星

農業

辰ノ口の桜並木



## Contents

- 1-2 | 未来へつなぐメッセージ
- 3-4 | 記憶に残る20年の歩み
- 5-6 | 市制施行20周年記念事業
- 7-10 | 未来へつなぐ  
魅力と活気あふれるまちづくり



## 伝統文化

全国に知られる組立式農村歌舞伎舞台「西塩子の回り舞台」や古来から伝わる和紙の原料「楮」を使用した「西の内紙」、地元のお祭りなど、伝統的な行事や技術を守り、受け継がれています。

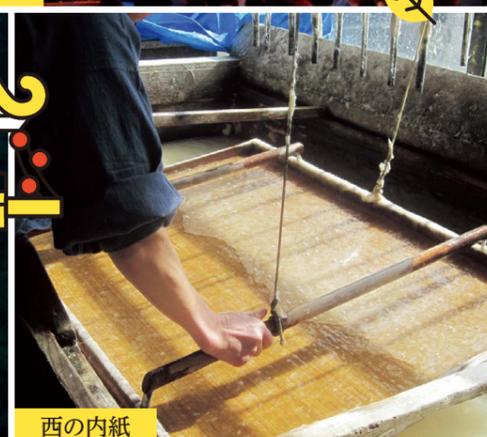


西塩子の回り舞台



鶯子山上神社夏例大祭

4年に1度開催される美和・鶯子地区の「祇園祭」。朝から日没まで複数の屋台が地域を巡り、夜には「ぶんぬき」と呼ばれるお囃子の共演が行われます。



西の内紙



上小瀬祇園祭



大宮祇園祭

## 「人が輝き 安心・快適で 活力と誇りあふれるまち」の実現に向けて

常陸大宮市は、平成16年10月16日に、大宮町、山方町、美和村、緒川村、御前山村の2町3村が合併して誕生し、令和6年に市制施行20周年を迎えました。市民の皆様をはじめ、本市の発展にご尽力されました多くの方々へ心より感謝申し上げます。

20周年を迎えた常陸大宮市が、今後も更なる飛躍を遂げて発展していけるよう、「人口流出を防ぐダム（政策）の構築と実践」の政策プロジェクトのもと、「人が輝き 安心・快適で 活力と誇りあふれるまち」の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでまいります。

この記念誌が、常陸大宮市の過去、現在、そして未来へと繋ぐ架け橋となるとともに、市民の皆様が常陸大宮市への郷土愛を深めていただく一助になれば幸いです。

常陸大宮市長 鈴木 定幸



# 記憶に残る20年の歩み

2004-2024 ダイジェスト



常陸大宮市開市式



西塩子回り舞台保存会  
「第1回ティファニー伝統文化振興賞」授賞式



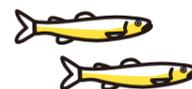
古代ゾウ「ステゴロフォドン」の頭蓋化石



泉坂下遺跡「人面付壺形土器」



大相撲常陸大宮場所



いきいき茨城ゆめ国体2019 なぎなた競技会



東日本台風(台風19号)による  
浸水被害



道の駅常陸大宮  
〜かわプラザ〜  
開業



常陸大宮市開市式



西塩子回り舞台保存会  
「第1回ティファニー伝統文化振興賞」授賞式



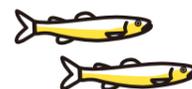
古代ゾウ「ステゴロフォドン」の頭蓋化石



泉坂下遺跡「人面付壺形土器」



大相撲常陸大宮場所



いきいき茨城ゆめ国体2019 なぎなた競技会



東日本台風(台風19号)による  
浸水被害



道の駅常陸大宮  
〜かわプラザ〜  
開業



2004 平成16年  
10月 ● 常陸大宮市誕生

2005 平成17年  
3月 ● 市章を制定

2006 平成18年  
7月 ● 常陸大宮済生会病院が開院  
10月 ● 泉坂下遺跡から人面付土器などを発見

2007 平成19年  
8月 ● 市の花木鳥(ばらさくら・かわせみ)を制定

2008 平成20年  
6月 ● 第23回国民文化祭「いばらき2008」開催  
11月 ● 西塩子回り舞台保存会が「第1回ティファニー伝統文化振興賞」受賞

2009 平成21年  
4月 ● マスコットキャラクター「ひたまる」誕生  
10月 ● 御前山小学校開校

2010 平成22年  
4月 ● 予約制乗合タクシー運行開始  
4月 ● 大宮北、美和、緒川小学校開校

2011 平成23年  
3月 ● 御前山ダム完成  
4月 ● 東日本大震災発生

2012 平成24年  
11月 ● 水郡線で「SL奥久慈清流ライン号」を運行

2013 平成25年  
1月 ● ひたまるナンパードレイト交付開始  
12月 ● 「常陸大宮及び周辺地域の和紙生産用具と製品253点が国有形民俗文化財に登録

2014 平成26年  
4月 ● 文書館開館  
6月 ● 市の魚(あゆ)を制定  
10月 ● 市の歌「君とこのふるさと」制定

2015 平成27年  
4月 ● 秋田県大館市と友好都市協定を締結  
10月 ● 30年ぶりに大相撲常陸大宮場所を開催  
● 明峰中学校開校

2016 平成28年  
3月 ● 郷育立市宣言  
6月 ● 東京2020大会ハロイ共和国のホストタウンに登録  
● 道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜開業

2017 平成29年  
9月 ● 「泉坂下遺跡」と出土品「人面付壺形土器」などが国史跡と国重要文化財にW指定  
● 栃木県5市2町と「常陸大宮市民の県外広域避難に関する協定書」を締結

2018 平成30年  
5月 ● 子育て世代包括支援センター「めぐもり」開設  
10月 ● 第59回都道府県対抗なぎなた大会開催

2019 平成31年 令和元年  
9・10月 ● 東日本台風(台風19号)による浸水被害  
10月 ● いきいき茨城ゆめ国体2019 なぎなた競技会開催

2020 令和2年  
3月 ● ひたまるアプリリリース  
10月 ● 新型コロナウイルス感染症拡大による小・中学校休校

2021 令和3年  
2月 ● 宮城県蔵王町と友好都市協定を締結

2022 令和4年  
4月 ● 高部の「養浩園」が国記念物に登録  
6月 ● 御前山ダムの湖面利用を開始  
7月 ● 高部の「喜雨亭」が国有形文化財に登録  
11月 ● 高部の「養浩園」が国記念物に登録  
● 御前山ダムの湖面利用を開始

2023 令和5年  
5月 ● かわプラザに「ビジョンの広場」が完成  
11月 ● 茨城県初となる「オーガニックビレッジ宣言」を行う  
● ビサードにわくわくビサードの森がオープン  
● かわプラザに「ビジョンの広場」が完成

2024 令和6年  
4月 ● 大宮運動公園市民球場リニューアル  
● 乗合タクシー「のーと」にリニューアル  
● 茨城県初となる「オーガニックビレッジ宣言」を行う  
● ビサードにわくわくビサードの森がオープン  
● かわプラザに「ビジョンの広場」が完成



常陸大宮済生会病院 開院



ひたまる



文書館 開館



御前山ダム湖面  
利用開始



養浩園  
(国登録記念物)



喜雨亭(国登録有形文化財)



かわプラザ  
ビジョンの広場



わくわくビサードの森



大宮運動公園市民球場リニューアル



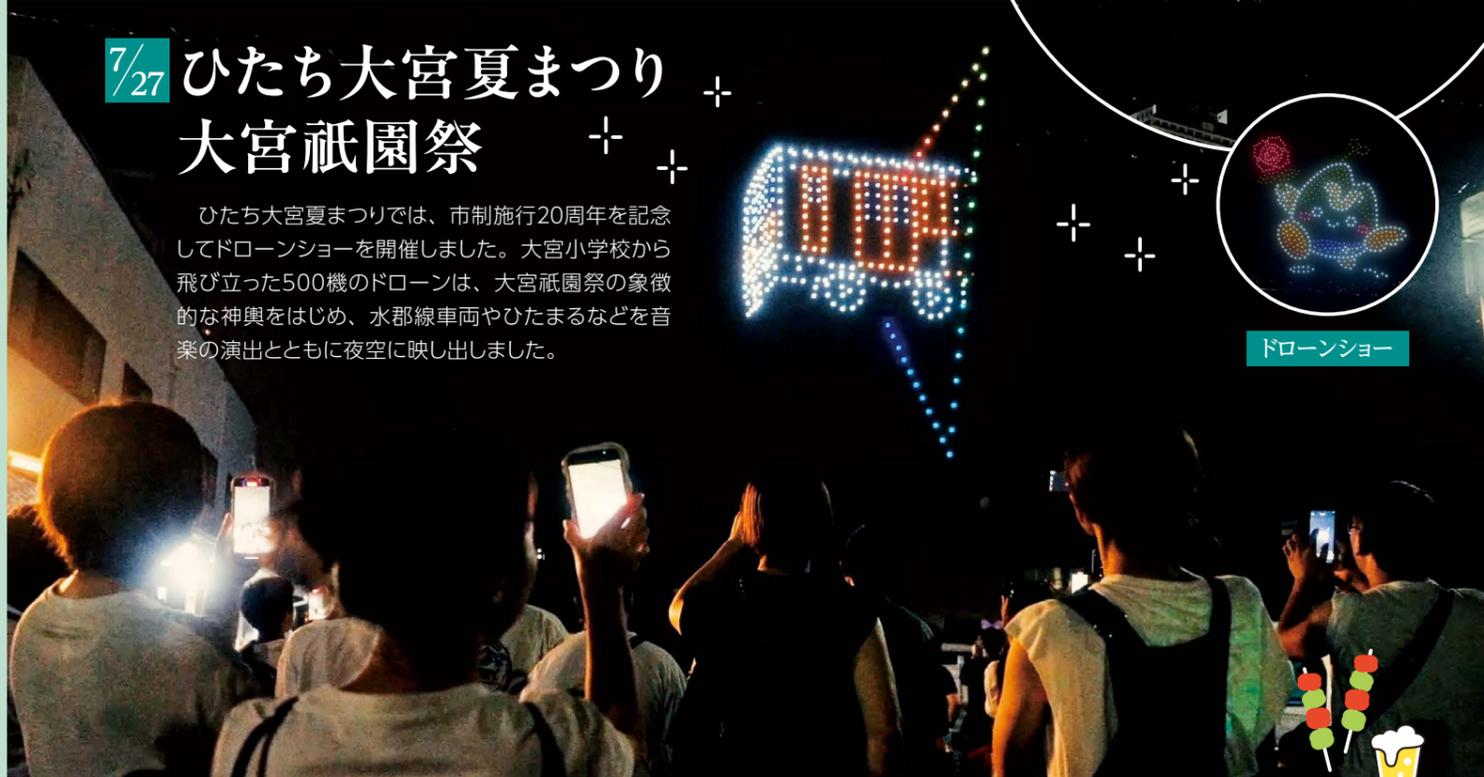
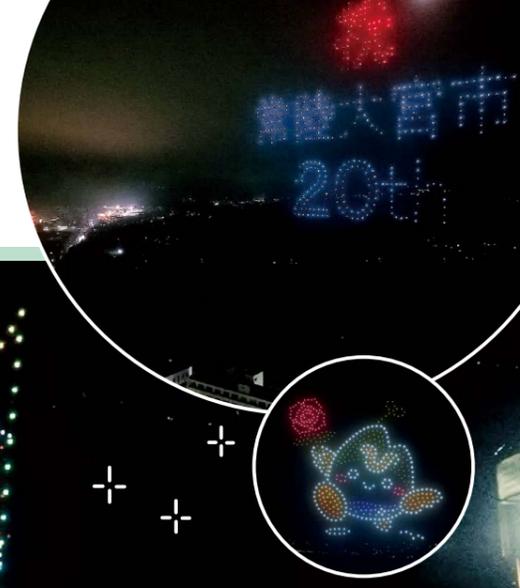
乗合タクシー  
「のーと」

2004-2024 Digest



# 市制施行

# 20周年記念事業



## 7/27 ひたち大宮夏まつり 大宮祇園祭

ひたち大宮夏まつりでは、市制施行20周年を記念してドローンショーを開催しました。大宮小学校から飛び立った500機のドローンは、大宮祇園祭の象徴的な神輿をはじめ、水郡線車両やひたまるなどを音楽の演出とともに夜空に映し出しました。

ドローンショー

## 10/16 市制施行20周年記念式典

市文化センターで市制施行20周年記念式典を開催しました。式典は「常陸大宮市20年のあゆみ」と題したスライドショーで幕を開け、市政・自治にご尽力いただいた皆さんの記念表彰を行いました。また、市の将来や未来をテーマにした作品を募集した「絵画・書道・作文コンクール」各部門の最優秀賞受賞者を表彰したほか、作文部門の最優秀賞受賞者による作文発表や各部門の最優秀賞・優秀賞を受賞した作品の展示を行いました。



記念表彰



スライドショー



絵画・書道・作文コンクール



神輿渡御



屋台巡行



大宮祇園祭恒例の神輿渡御・屋台巡行では、「オイッサー、オイッサー」と担ぎ手たちが掛け声を上げながら神輿を担ぎ、最後には、最大の見せ場である迫力満点のぶつかり合いも行われました。グルメ&ビールフェスティバルでは、駅前を中心に約50店舗のキッチンカーや屋台が集い、多くの人が多彩なグルメを堪能しました。また、大宮商店会夏祭りでは、ダンスや大道芸、道を進みながら踊る「よさこい」パフォーマンスなどが会場を大いに盛り上げました。

## 10/15 記念給食

市内小中学校の子どもたちに市制施行20周年記念給食と題し、常陸牛を使用した牛鍋、市マスコットキャラクターひたまるの焼印が入った厚焼き玉子、市認証特産品「久慈川たけのこメンマ」と有機栽培の小松菜を使用した和え物、20周年特別パッケージの味付けのりを提供しました。



## 10/16~22 施設無料開放

市内の温泉・温浴施設「ごぜん やま温泉保養センター 四季彩館」「美和 ささの湯」「やまがたすこやかランド 三太の湯」、屋内こどもの遊び場「わくわくピサー口の森」の無料開放を行いました。



## 12/1 全早明野球戦 常陸大宮大会

大宮運動公園市民球場で「市制施行20周年記念全早明野球戦 常陸大宮大会」を開催しました。早稲田大学と明治大学、それぞれ現役・OBの混合チームが「オール早明戦」として、熱戦を繰り広げました。





常陸大宮新駅舎西口イメージ



PROJECT  
1  
住みたい

子育て世代をはじめ、全ての市民が暮らしやすく、住み続けたいと思える、コンパクトで便利なまちづくりを進めるとともに、移住・定住の地として常陸大宮市が選ばれるための取組を推進しています。

## 若者・女性が住みやすいまちづくり

### 常陸大宮駅周辺整備事業

市の中心拠点として、住民生活の質の向上とまちの活性化を図るため、常陸大宮駅周辺の整備を進めています。令和7年2月には、新駅舎・東西改札が利用できるようになり、令和8年3月に東口と西口を結ぶ東西自由通路が完成する予定です。駅前広場には高速バスやタクシー乗り場を設置し、駅へ向かうアクセス道路を整備するなど、安心して快適な居住環境づくりを進めます。また、中心市街地の活性化や健康づくりをテーマとしたヘルスロード計画など、ソフト事業の取組を行っています。



### 子育て世帯向け住宅整備事業

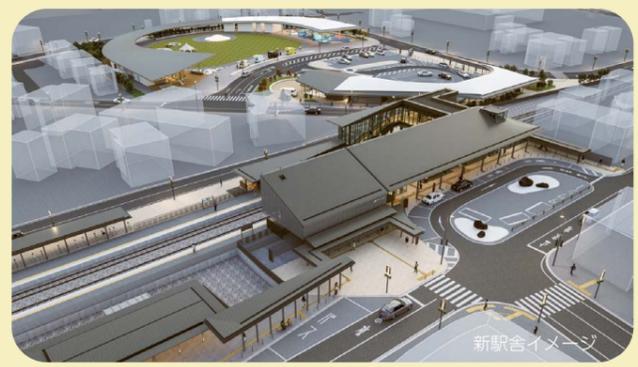
住みたいと思える魅力あるまちづくりの一環として、中富町に子育て世帯向け住宅を整備しています。子どもを見守りやすい間取り、ご近所同士のコミュニティが形成しやすく、風が通り抜けるような適度な住宅配置などの工夫が詰まっています。賃貸として25年間住み続けることで、入居者の持ち家となり、市外から移り住んだ子育て世帯が定住できるような仕組みになっています。また、近隣住民も立ち寄ることができる公園も新たに整備しています。



子育て世帯向け住宅イメージ



## 新たな常陸大宮駅周辺整備の注目ポイント



新駅舎イメージ

### 「西塩子の回り舞台」をモチーフとした駅舎

常陸大宮市の代表的な伝統の一つである「西塩子の回り舞台」をモチーフとした大きな屋根の東西駅舎、自由通路などをつなぐデザインの新駅舎として生まれ変わります。回り舞台を思わせる大きな屋根が、上下線のホーム空間を包み込み、駅を訪れる人々を迎えてくれます。



自由通路内観イメージ

### 市産木材を使用した温もりのある内装

駅舎、自由通路の内装には、常陸大宮市で育ったスギやヒノキなどの木材を使用する予定です。現代的ながらも木の温もりが感じられ、大きなガラス窓から入る太陽光や暖色系の照明から光の温もりが感じられる、昼夜を問わずほっとする空間を目指しています。



### にぎわいを創出する「駅西交流拠点」

駅西口には、子育て支援や多世代の市民交流の場となる駅西交流拠点を整備しています。多目的に活用できる芝生広場、障がいの有無にかかわらず誰もが楽しく遊べるインクルーシブ遊具やカフェ機能を備えた施設などを整備します。(令和9年3月完成予定)



駅西交流拠点イメージ

### 不妊治療費助成事業

「子どもを授かりたい」と願う方々に県内で一番手厚い不妊治療費助成を行っています。妻が42歳までに開始した治療であれば、保険適用の有無に関わらず、回数制限なく、自己負担分の全額を助成しています。これからは不妊で悩む方々をサポートしていきます。



### こどもの遊び場整備

「子どもの遊び場を増やしてほしい」との声から、市内2か所に遊び場を整備しました。道の駅常陸大宮〜かわプラザ〜「ピジョンの広場」では、大型遊具や三輪車コース、インクルーシブ遊具を設置しました。常陸大宮ショッピングセンターピサー口「わくわくピサー口の森」では、立体ネット遊具などの全身で遊べる遊具のほか、おままごとセットなどで落ち着いて遊べます。これからも子どもがのびのびと遊べるような環境づくりを進めていきます。



ピジョンの広場



わくわくピサー口の森

# 魅力と活気あふれる

# まちづくり

常陸大宮市では、市民生活や地域経済を維持・発展させるため、「住みたい」「育てたい」「来たい」と思えるような政策を展開しています。20周年以降も市民の皆さんが安心・快適に過ごすことができ、活力と誇りがあふれるようなまちづくりを行っていきます。

PROJECT 2 育てたい

## 学力向上にコミットする教育推進

### 確かな学力育成プロジェクト

子どもたちの「関心・意欲・態度」を高めることで、思考力や知識などが身についていくという考えのもと、令和4年度の各種検査から「学校生活意欲・学習意欲」「認知能力」「学習到達度」をデータ化し、先生が子どもたち一人一人に応じた指導を行っています。スタートから2年で、学校生活に満足する子どもたち\*が5%増加しました。今後も、活発に意見交換しやすい親和的な学級づくりを進めていきます。

\*「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート (hyper-QU)」で「学級生活満足群」と判定された市内の児童・生徒の割合



### 中学生英語体験事業

子どもたちの国際的な視野を広げ、国際感覚を身につけ豊かな心を育む目的で、中学3年生を対象に海外研修を実施しています。グローバルに活躍できる人材の育成を継続していく予定です。



子どもたちが健全に成長し、勉強やスポーツに親しみ、幸せで将来に夢を持てるように、教育環境の充実を図るとともに、子育てサポートの取組を推進しています。

## 子どもたちに最高の給食を

### オーガニック学校給食の推進

「子どもたちに最高の給食を届けたい」という強い思いからオーガニック給食の提供を推進しています。有機野菜や食品添加物を含まない調味料など、自然由来の食材を積極的に取り入れたメニューを考案しています。今後は、地元農家などと連携し、食材の地産地消、100%オーガニック給食化を目指して取組を進めていきます。



PROJECT 3 来たい

## 観光資源のブラッシュアップ

### 道の駅常陸大宮周辺整備事業

道の駅常陸大宮～かわプラザ～の南部エリアを活用したグラウンドゴルフ場の整備を進めています。地域の振興とともに、高齢者などが元気にいつまでも生活できるよう、生きがいと健康づくりにつながる拠点として、令和8年度のオープンを目指しています。



市には豊かな自然をはじめ、歴史や伝統文化など、多くの魅力があります。この魅力や地域資源を生かし、産業や観光の振興、交流人口や関係人口の創出・拡大のための取組を推進しています。

### 「竹と桜」の辰ノ口アートプロジェクト

真竹の群生地として全国有数の景観を誇る辰ノ口地区の竹林を整備し、竹あかりやライトアップで竹林を彩るアートプロジェクトを開始しています。「第16回ひたち大宮辰ノ口さくら祭り」にあわせ、令和7年3月22日から一般公開を予定しています。



### 御前山ダム周辺活性化事業

これまで、御前山ダムを拠点として、湖面でのカヌー体験イベントの開催をはじめ、周辺のハイキングコースの整備などを行ってきました。今後は、アクティビティを快適に楽しめるよう、カヌーの発着所などを整備する予定です。



### パークアルカディアブラッシュアップ推進事業

令和5年から、民間事業者により一部再整備・運営されているパークアルカディアを、さらに豊かな自然環境を活用した施設として充実させ、市外からも「来たい」と思えるような魅力の向上を図っていきます。



パークアルカディアイメージ

二十歳を迎えた皆さんから

## 常陸大宮市へメッセージ

私は、常陸大宮市政が始まった平成16年10月16日と同日に誕生しました。常陸大宮市と共に成長し、今年で20歳を迎えることができました。私は、自然豊かで、地域性あふれるこの常陸大宮市が大好きです。常陸大宮市には、これからも地域の特性を生かした活動や市民に寄り添った政策を期待しています。最後に、これからの常陸大宮市のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

はたちのつどい  
実行委員会 委員長  
仲田 奈央さん



大学進学で故郷の常陸大宮市を離れて、自然の豊かさや人のあたたかさをとても懐かしく思うと同時に、その素晴らしさに改めて気づきました。二十歳を迎え、大人への一歩を踏み出しますが、これからも故郷を大切に生きていきたいです。

はたちのつどい  
実行委員会 副委員長  
皆川 礼名さん



常陸大宮市が市制施行20周年を迎えたこと、心よりお祝い申し上げます。この市の豊かな自然と温かい人々のつながりが私は大好きです。これからも住みやすさと活気を兼ね備えた市として発展し、多世代が安心して暮らせる場所であり続けてほしいと思います。未来の常陸大宮市が、子どもたちが夢を持ち、それを実現できるような環境を整え、さらなる輝きを増すことを願っています。

はたちのつどい  
実行委員会 副委員長  
大森 唯斗さん





常陸大宮市



HITACHIOHMIYA CITY  
IBARAKI PREF. JAPAN

常陸大宮市  
市制施行20周年記念誌

市の鳥 [かわせみ]



市の花 [ばら]



市の魚 [あゆ]



市の木 [さくら]



マスコットキャラクター  
ひたまる

発行 常陸大宮市

〒319-2292 常陸大宮市中富町3135番地の6

Tel.0295-52-1111 Fax.0295-53-5415 <https://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

発行年月 令和7年(2025)3月



再生紙と植物油インクを使用しています。